

## 言葉あそび(午後中、日本二、義理の自分)



今回は時々挿入する薬とは全く関係のない話になります。過去にコラム形式で入れ込んでいたかもしれませんが、改めての紹介です。

### 1) 午後中

「明日の午前中に連絡します」、「今日は午前中に仕事を済まそう」、「昨日は午前中に患者さんが集中した」など未来、現在、過去を問わず「**午前中**」という言葉はよく使われているかと思います。

実は私の次男が幼い頃によく使っていたのですが「午後中に宿題するわ」など午後にする作業などを「**午後中**」と言っていました。その時は「午後中という言葉は無いよ」と言いましたが、「どうして?」と聞かれました。「普通は言わないから」と答えた覚えがありますが、何故「**午後中**」とは一般に言わないのでしょうか?

更に言えば、午前と午後を合わせた「**今日中**」という言い方はあるのに、どうして午後だけを取り上げた「**午後中**」という言葉を使わないのでしょうか?

### 2) 日本二

「日本一高い山は富士山だ」、「君は日本一美しい女性だ」、「この店は日本一うまいラーメン屋だ」など日本における最上級を示す言葉に「**日本一**」があります。では日本で二番目の場合はどうでしょうか。「日本二高い山は北岳だ」、「君は日本二美しい女性だ」、「この店は日本二うまいラーメン屋だ」という表現は普通使いません。「日本で二番目に」という長めの表現に置き換えて使われているかと思います。何故「**日本二**」とは一般に言わないのでしょうか?

職場一美しい、富山県一美しい、世界一美しい等々二の無い例はいくつもあるようですが。

### 3) 義理の自分

私がある女性と結婚すると、その女性の両親を「義理の父」とか「義理の母」と呼びます。またその女性に姉妹がいれば「義理の姉妹」と一般に呼ぶと思います。

私の娘がある男性と結婚した時はどうでしょうか? 私はその男性を「義理の息子」と呼びます。そして娘と義理の息子の間に生まれた子は単に「孫」と呼びますが、義理の息子の両親はどう呼ぶのでしょうか? 義理の息子の母親は私にとって「**義理の女房**」でしょうか? その流れから言うと義理の息子の父親は「**義理の自分**」になるのでしょうか? 「**義理の自分**」とは一体なんなのでしょう。何か妙だと思っているのですが、この理論構成のどこに誤りがあるのでしょうか?

### 4) 監査と鑑査

調剤業務の最終チェックで使用する言葉になります。私は駆け出し薬剤師の頃から「**監査**」をしてきましたが、最近、薬局系雑誌を読んでいると「**鑑査**」の文字が多々出てきます。両者の意味は、

**監査**: 対象が正しいか間違いか二者択一の選択

**鑑査**: 対象が優れているか劣っているかの優劣の評価 となるはずです。

**鑑査**では劣っていても正しいとなります。調剤の最終チェックは正誤の二者択一になりますから「**監査**」が正しいと私はずっと思っているのですが未だに鑑査が使用されていますね。 (終わり)